

いなづま

題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集総務部
住所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 有限会社 崇山印刷



「大自然とロマンの北海道で
電気工事業の未来を語ろう」

第八回電気工事業
全国大会
開催さる！

全日電工連の年間最大イベントである電気工事業全国大会が、本年は第八回を迎える。去る九月二十八日北海道電気工業組合が主管となって、札幌市の北海道厚生年金会館にて開催された。

参加組合員は、道外八百名、道内七百名で更に来賓として政治関係、関係官公庁、電力会社、メーカー、資材関係約三百名、恒例の韓国電気協会二十名等を加え、約二千名近く、全国大会始まって以来最大の大集会となつた。

我が組合からは、大倉理事長はじめ役員十八名、組合員十六名、青年部十名、事務局二名の合計四十六名が参加した。

大会前日の行事としては、有志による親睦ゴルフコンペが早朝七時三十分より真駒内カントリークラブ藻岩コースで行なわれたほか、全日電工連常務理事会が第一ホテルに於いて午後四時から、全国青年部の前夜祭（懇親会）が午後六時から北海道厚生年金会館で開催された。

大会当日は、午前九時三十分より青年部研修会が行われ、青年部担当の第三分科会テーマに関する百瀬恵夫氏（明治大学経済学部教授）の基調講演及び活発なる

意見交換が行なわれ、予定人員の四百三十名を越える盛況であった。

大会に先立つ三つの分科会は、午後一時から二時三十分まで左記のテーマでそれぞれ行われ、全国各ブロック代表による意見発表が展開され、合計千名が参加した。



第一分科会——新時代を迎える電気工事業のビジョン（業界の立場から）
第二分科会——新時代をめざす電気工事業経営のあり方（企業の立場から）
第三分科会——電気工事業いま未来 “90” 人づくり
ネットワーク（青年部）

大会は午後二時五十分より五時まで大ホールで挙行された。

物故者への黙祷のあと、島津道工組理事長の開会のことば、米沢全日会長のあいさつより始まり、来賓あいさつは通産大臣、建設大臣、北海道知事、札幌市長、

北海道電力株社長より頂き、来賓紹介に続いて全日会長表彰に移った。

今回地元北海道での開催を機に、道工業組合傘下の各単協より推薦された永年役員として貢献した十二名と組合職員三名計十五名の表彰が米沢全日会長により行われた。当組合からは、細川副理事長と平沼理事が表彰をうけ、他の受賞者と壇上にて満場のねぎらいの拍手をうけた。

大会は、このあと前半に開催された三つの分科会のまとめ発表に入り、全国ブロック代表による意見発表のまとめが各分科会担当の常務理事より報告された。最後に第九回大会（次期開催地）案内があり、来年は四国徳島とのことで、四国ブロック青年部の諸君が摘要の法被姿で歓迎の気勢を上げ、熱氣あふれる本大会は所期の成果をおさめ閉会となつた。



引き続き懇親会が午後五時三十分より厚生年金会館3Fロイヤルホールにて開催された。
人員の関係で、メインのロイヤルホールを軸に三つの中ホールの他ロビーにも円卓を並べ、あふれるばかりの人波の中で盛大にかつ豪華に行われた。
ここでも島津理事長の地元歓迎のあいさつに続き、多数の来賓のあいさつやスピーチがあり、アトラクション等も続き、北海道の味覚を十二分に堪能した本州各地の組合員並に道内組合員の和氣あいあいの交流の中に全国大会は成功裡に終幕となつた。



役員会だより

第五回役員会

一、慶弔報告

函館北辰電気(株)前代表者ご逝去

大倉理事長病氣入院見舞

(株)谷電気工業所前代表者ご逝去

竹内八郎元専務理事ご逝去

細川精一元専務理事ご逝去

二、貸付報告

九社 三九〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ支部會議を開催、港まつり行事、

電気工事業全国大会への参加を要請した。

福島支部=松前地区において、自動点滅器を電業所に在庫出来ないかとの要望があった。

四、総務委員会事項

(1) 電気保安功労者の表彰について

(詳細前号掲載)

(2) 代表者の変更について

・梶原電気工業(株) 田名部義大(旧梶原邦夫)

(3) 交通事故防止について

(4) 第八回電気工事業全国大会について

譲渡・譲受による加入申込について

(5) 中浜電気・中浜電気

(6) ホーム電業社・ホーム電業社

(7) (8) (9) (10) 有里見電気工業・里見電気工業

(11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (778) (779) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (787) (788) (788) (789) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (797) (798) (798) (799) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (817) (818) (818) (819) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (837) (838) (838) (839) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (847) (848) (848) (849) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (857) (858) (858) (859) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (867) (868) (868) (869) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (877) (878) (878) (879) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (887) (888) (888) (889) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (897) (898) (898) (899) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (907) (908) (908) (909) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (917) (918) (918) (919) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (927) (928) (928) (929) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (937) (938) (938) (939) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (947) (948) (948) (949) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (957) (958) (958) (959) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (967) (968) (968) (969) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (977) (978) (978) (979) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (987) (988) (988) (989) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (997) (998) (998) (999) (999) (1000) (1001) (1002) (1003) (1004) (1005) (1006) (1007) (1008) (1009) (10010) (10011) (10012) (10013) (10014) (10015) (10016) (10017) (10018) (10019) (10020) (10021) (10022) (10023) (10024) (10025) (10026) (10027) (10028) (10029) (10030) (10031) (10032) (10033) (10034) (10035) (10036) (10037) (10038) (10039) (10040) (10041) (10042) (10043) (10044) (10045) (10046) (10047) (10048) (10049) (10050) (10051) (10052) (10053) (10054) (10055) (10056) (10057) (10058) (10059) (10060) (10061) (10062) (10063) (10064) (10065) (10066) (10067) (10068) (10069) (10070) (10071) (10072) (10073) (10074) (10075) (10076) (10077) (10078) (10079) (10080) (10081) (10082) (10083) (10084) (10085) (10086) (10087) (10088) (10089) (10090) (10091) (10092) (10093) (10094) (10095) (10096) (10097) (10098) (10099) (100100) (100101) (100102) (100103) (100104) (100105) (100106) (100107) (100108) (100109) (100110) (100111) (100112) (100113) (100114) (100115) (100116) (100117) (100118) (100119) (100120) (100121) (100122) (100123) (100124) (100125) (100126) (100127) (100128) (100129) (100130) (100131) (100132) (100133) (100134) (100135) (100136) (100137) (100138) (100139) (100140) (100141) (100142) (100143) (100144) (100145) (100146) (100147) (100148) (100149) (100150) (100151) (100152) (100153) (100154) (100155) (100156) (100157) (100158) (100159) (100160) (100161) (100162) (100163) (100164) (100165) (100166) (100167) (100168) (100169) (100170) (100171) (100172) (100173) (100174) (100175) (100176) (100177) (100178) (100179) (100180) (100181) (100182) (100183) (100184) (100185) (100186) (100187) (100188) (100189) (100190) (100191) (100192) (100193) (100194) (100195) (100196) (100197) (100198) (100199) (100200) (100201) (100202) (100203) (100204) (100205) (100206) (100207) (100208) (100209) (100210) (100211) (100212) (100213) (100214) (100215) (100216) (100217) (100218) (100219) (100220) (100221) (100222) (100223) (100224) (100225) (100226) (100227) (100228) (100229) (100230) (100231) (100232) (100233) (100234) (100235) (100236) (100237) (100238) (100239) (100240) (100241) (100242) (100243) (100244) (100245) (100246) (100247) (100248) (100249) (100250) (100251) (100252) (100253) (100254) (100255) (100256) (100257) (100258) (100259) (100260) (100261) (100262) (100263) (100264) (100265) (100266) (100267) (100268) (100269) (100270) (100271) (100272) (100273) (100274) (100275) (100276) (100277) (100278) (100279) (100280) (100281) (100282) (100283) (100284) (100285) (100286) (100287) (100288) (100289) (100290) (100291) (100292) (100293) (100294) (100295) (100296) (100297) (100298) (100299) (100300) (100301) (100302) (100303) (100304) (100305) (100306) (100307) (100308) (100309) (100310) (100311) (100312) (100313) (100314) (100315) (100316) (100317) (100318) (100319) (100320) (100321) (100322) (100323) (100324) (100325) (100326) (100327) (100328) (100329) (100330) (100331) (100332) (100333) (100334) (100335) (100336) (100337) (100338) (100339) (100340) (100341) (100342) (100343) (100344) (100345) (100346) (100347) (100348) (100349) (100350) (100351) (100352) (100353) (100354) (100355) (100356) (100357) (100358) (100359) (100360) (100361) (100362) (100363) (100364) (100365) (100366) (100367) (100368) (100369) (100370) (100371) (100372) (100373) (100374) (100375) (100376) (100377) (100378) (100379) (100380) (100381) (100382) (100383) (100384) (100385) (100386) (100387) (100388) (100389) (100390) (100391) (100392) (100393) (100394) (100395) (100396) (100397) (100398) (100399) (100400) (100401) (100402) (100403) (100404) (100405) (100406) (100407) (100408) (100409) (100410) (100411) (100412) (100413) (100414) (100415) (100416) (100417) (100418) (100419) (100420) (100421) (100422) (100423) (100424) (100425) (100426) (100427) (100428) (100429) (100430) (100431) (100432) (100433) (100434) (100435) (100436) (100437) (100438) (100439) (100440) (100441) (100442) (100443) (100444) (100445) (100446) (100447) (100448) (100449) (100450) (100451) (100452) (100453) (100454) (100455) (100456) (100457) (100458) (100459) (100460) (100461) (100462) (100463) (100464) (100465) (100466) (100467) (100468) (100469) (100470) (100471) (100472) (100473) (100474) (100475) (100476) (100477) (100478) (100479) (100480) (100481) (100482) (100483) (100484) (100485) (100486) (100487) (100488) (100489) (100490) (100491) (100492) (100493) (100494) (100495) (100496) (100497) (100498) (100499) (100500) (100501) (100502) (100503) (100504) (100505) (100506) (100507) (100508) (100509) (100510) (100511) (100512) (100513) (100514) (100515) (100516) (100517) (100518) (100519) (100520) (100521) (100522) (100523) (100524) (100525) (100526) (100527) (100528) (100529) (100530) (100531) (100532) (100533) (100534) (100535) (100536) (100537) (100538) (100539) (100540) (100541) (100542) (100543) (100544) (100545) (100546) (100547) (100548) (100549) (100550) (100551) (100552) (100553) (100554) (100555) (100556) (100557) (100558) (100559) (100560) (100561) (100562) (100563) (100564) (100565) (100566) (100567) (100568) (100569) (100570) (100571) (100572) (100573) (100574) (100575) (100576) (100577) (100578) (100579) (100580) (100581) (100582) (100583) (100584) (100585) (100586) (100587) (100588) (100589) (100590) (100591) (100592) (100593) (100594) (100595) (100596) (100597) (100598) (100599) (100600) (100601) (100602) (100603) (100604) (100605) (100606) (100607) (100608) (100609) (100610) (100611) (100612) (100613) (100614) (100615) (100616) (100617) (100618) (100619) (100620) (100621) (100622) (100623) (100624) (100625) (100626) (100627) (100628) (100629) (100630) (100631) (100632) (100633) (100634) (100635) (100636) (100637) (100638) (100639) (100640) (100641) (100642) (100643) (100644) (100645) (100646) (100647) (100648) (100649) (100650) (100651) (100652) (100653) (100654) (100655) (100656) (100657) (100658) (100659) (100660) (100661) (100662) (100663) (100664) (100665) (100666) (100667) (100668) (100669) (100670) (100671) (100672) (100673) (100674) (100675) (100676) (100677) (100678) (100679) (100680) (100681) (100682) (100683) (100684) (100685) (100686) (100687) (100688) (100689) (100690) (100691) (100692) (100693) (100694) (100695) (100696) (100697) (100698) (100699) (100700) (100701) (100702) (100703) (100704) (100705) (100706) (100707) (100708) (100709) (100710) (100711) (100712) (100713) (100714) (100715) (100716) (100717) (100718) (

組合行事

平成2年11月

い　な　づ　ま

8月3日	函館港まつり一万人踊りパレードに参加
6日	福島支部会議
10日	電気安全大会に於いて、大倉電気㈱、太鎌電気㈱、有西岡電気の三社が表彰された。
14日	いなづま編集会議
1918年	第一種電気工事士資格講習会 (於拓銀ビル) ॥組合関係受講者五八名
20日	道工業組合全国大会打合会議に大倉理事長出席(於札電協)
23日	八雲支部八雲ブロック会議
24日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札電協)
25日	八雲支部北松山ブロック会議
9月7日	第五回役員会
14日	道工業組合青年部長会議に平沼部長出席 (於札電協)
全日	東支部会議
17日	中小企業団体事務長会研修会に坂本事務局長出席(於拓銀ビル)
18日	西支部会議
20日	正副理事長会議
全日	北電函館営業所・組合の合同パトロール (十四ヶ所)
24日	事務局職員慰安旅行
25日	青年部第八回電気工事業全国大会出席者の打合会議
26日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札電協)
27日	道工業組合第八回電気工事業全国大会打合

八月三日金曜日、心配された天候も雨の降る気配は全くなく、午後六時頃には飾り付けをした山車一台、『電気使用安全月間』の標語、パレードに協賛頂いた電材問屋、メーカーの商社名で色々な看板で覆はれた空中作業車が二台と、揃いのハッピ・短パンを纏った組合員、家族、従業員と電材問屋関係の人々、それぞれ工夫を凝らした『電線マン』の衣装に身をつぶんだ青年部会員等おおよそ百二十人の参加者が集合場所の末広町銀座通りにつめかけ、パレードの出発を待つばかりとなつた。

周囲には、昔ながらの火消し縄を持った集団や赤締一本の外国人団、牛乳パックで飾り付けた山車等まつりの気分を盛りあげる。

六月二十三日、函館港まつり協賛会主催の打合会議で、今年の『一万人踊りパレード』は、二・三年前から検討されていた五稜郭地区でのパレードが組みこまれ、三日は従来通りの十字街コース、四日は千代台公園から(今井デパート前を経由、五稜郭病院通り今までの五稜郭コースで実施される旨発表されたが、当組合では三日のみ参加することを決め、七月十日昨年同様佐藤副理事長を委員長とする港まつり実行委員会を設け、準備に入つた。

昨年を振りかえりながら種々検討を重ねた結果、踊りについては意外に観衆に受けた電線音頭を今年も取り入れることとし、統制のとれた踊りとすることを申しあわせた。

恒例函館港まつり一万人パレードに参加

函館港まつり

一万人パレードに参加

12日	東支部会議
13日	八雲支部八雲ブロック会議
14日	平成二年度年末特別融資説明会
15日	中小企業団体事務長会運営委員会に坂本事務局長出席
16日	吉田副理事長出席
17日	道工業組合四役会議、役員会に大倉理事長
18日	組合青年部役員会
19日	平成二年度年末特別融資説明会
20日	富山県電気工事工業組合の中西理事長他六名来組、大倉理事長と副理事長出席により懇談した。
21日	函館港まつり反省会議に佐藤副理事長出席
22日	西支部会議
23日	組合会計中間監査
24日	中渡島支部会議
25日	函館港まつり反省会議に佐藤副理事長出席
26日	函館港まつり反省会議に佐藤副理事長出席
27日	函館港まつり反省会議に佐藤副理事長出席
28日	第八回電気工事業全国大会に大倉理事長他役員・組合員・青年部・事務局等四十五名出席(於札幌市厚生年金会館)
29日	富山県電気工事工業組合の中西理事長他六名来組、大倉理事長と副理事長出席により懇談した。
30日	第八回電気工事業全国大会に大倉理事長他役員・組合員・青年部・事務局等四十五名出席(於札幌市厚生年金会館)

山車・空中作業車の飾り付け、参加者の把握、ハッピ・短パン・足袋の仕分け、飲食物・直会の手配等青年部の協力を貰いそれぞれ担当を分担し、本番を迎えたのである。

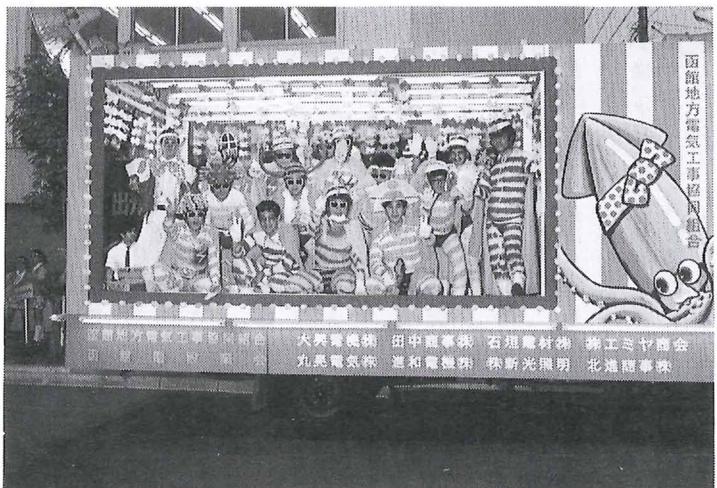
第四梯団十一番目にスタートの当組合の出発予定時間は午後七時十分であつたが、遅れに遅れてゴーサインが出たのは午後七時四十五分。いさか待ち疲れの感がする。しかし、先頭プラカードに統いて、組合名の入った御用提灯を手に、細川・吉田・佐藤三副理事長が揃いのゆかたで横一例に並び、次は『電線マン』を乗せた山車が続き、その後に踊り手、そしてその踊り手を水銀灯で明るく照らすように二台の作業車と、一段と暗くなつた道路に明るい集団があらわれ、歩道を埋めつくした黒山の観衆はやんやの拍手で迎えた。



最初は、はづかしそうに踊っていた参加者も、出発前に飲んだワンカップ・ビールの酔いが廻ってきたのか、手足の動きも活発になり、ヨイヨイヨイのはやしも大きくなってきた。観衆も山車から流れる電線音頭に手をたたき、身体をくねらせる。子供は立ち上つて踊り出し、お祭り気分を一気に盛り上げる。

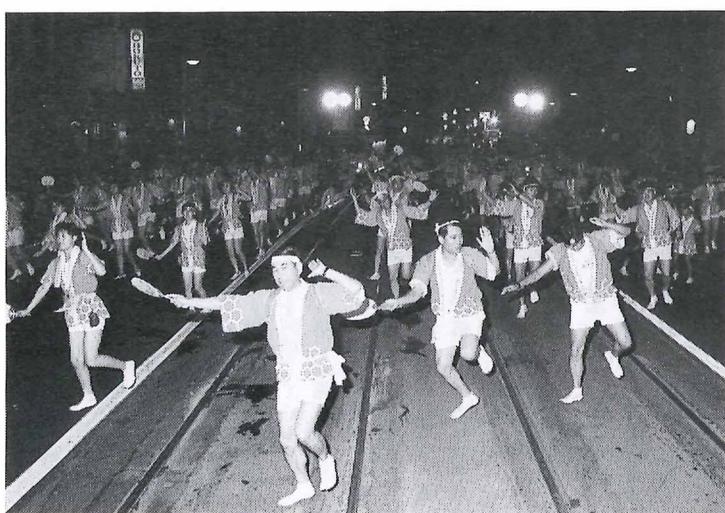
日本電機保全㈱の社屋前に進んだとき、昨年に引き続いて缶ビール・ワンカップの差入れがあり、乾いた喉をうるおして、一段とボリュームの上つた電線音頭にはやしも一段と大きくなる。

出発してから四十分、駅前交差点に差しかかる。観衆は一段と賑わい、電線音頭も精いっぱいボリュームを上げるが観衆の声にかき消され、最後列まで届かない様子、ようやく広小路にたどり着いたパレ



ードは、多くの観衆の拍手と、函館港まつり協賛会の『函館地方電気工事協同組合の皆さん、ご苦労様でした。』のねぎらいのアナウンスを背に無事終了、直会々場に入った。

この一万人パレードの参加にあたり、在函各支部組合員、電材問屋・メーカー各位には資金面のほか、各種器材、空中作業車の貸与など絶大なるご協力を頂き、又関係担当者・青年部会員のご苦労に対し、心より感謝と御札を申し上げます。





平沼鉢子 中国文化のルーツ 日本文化のルーツ

日本文化のルーツを考える時、中国の文化をぬきにしては考えられない。最近『中国文化的ルーツ』『謎を解く旅』と副題がついた本を入手した。東京美術と人民中国雑誌社の共同出版、著者は郭伯南を代表とする数人の中国人である。本の内容は吾々日本人が日常ふれている生活と食についての原点で、それはまさしく中国の原点でもある。一番身近かなものから紹介したい。

豆　腐

広辞苑を開き『豆腐』の欄を見ると豆腐の作り方は出てているがルーツは出ていない。中国では始めてさまざまな草を食べた人を聖人、始めてカニを食べた人を勇士とたたえている。豆腐は現在『東洋の佳肴』として世界でもてはやされているが、中国での起原は何時だつたのか、現在研究中ではつきりしない。いくつかの説があるのが実状である。

漢代という説

漢（紀元前二〇二—紀元八）、宋の詩人『朱熹』（一三〇—一二〇〇）が次のような豆腐の詩をよんでもいる。

種豆豆苗稀
早知淮南術
安坐獲泉布

詩の意味は「大豆をまいたがまばらにしか芽が出ない。もし、前漢王劉安の豆腐作りの方法を早く知っていたならば、豆をまかずしてその大豆で豆腐を作つて

安穩に金もうけが出来たのに」と、朱熹が大豆が実らないのでボヤいている。

宋・元・明・清以後、豆腐は漢代に始まるといわれているのはこの詩から『淮南王の術』によるものであるとされているのだが、本当はもつと早く始まつたと言われている。

淮南とは現在の安徽省中部の地名で、この地方の名産に『八公山豆腐』というのがあり、この八公山豆腐は淮南王の術（作り方）によつて今日に伝えられるとの事である。古来から八公山豆腐は絶品中の絶品といわれ、豆腐に欠かせない『ニガリ』を使用せず、八公山の泉から湧出する清水を使用している。土地の人はこの泉を『神泉』と呼んでいる。

唐（六一八—九〇七）に始まるという説

中国の学者で新中国成立後、化学史研究所の『袁翰青』教授は淮南王ではなく五代（唐から宋につづく間五つ国が興亡した。（九〇七—九六〇）この時代を五代と呼ぶ）の頃の農民であるとの説を発表した。その理由は淮南子を調査したが豆腐に関する事柄は全然なく、別稱すらない。宋の寇宗奭が十一世紀末に書いた『本草衍義』という本の中に、臼で大豆をひいて豆腐を作るという文がある。原文は『生大豆……又可煠為腐、食え』である。煠は石臼をひくという意味である。この事から宋代にすでに豆腐があつた事が裏づけられ、従つて豆腐作りが始まつたのは凡そ五代であると推測する事が出来る。教授は又、朱熹の詩の中にはあるが文献上淮南王の豆腐の記録は皆無なので漢代で

一説に鑑真和上ではなく黄檗宗の開山陰元和尚であるとも言う。豆腐作りの法は黄檗文化の一つであるという。しかし、鑑真是盛唐（七五〇）の末に日本に来陰元は清の初期（一六五四）長崎に来た。この間九年の開きがある。この説に対し陰元が日本に渡る数百年も前に、日本にはすでに豆腐やがつた。独特な豆腐調理が出来ていた。隋（五八一—六一九）・唐のころに日本に伝わり鑑真が来日して後豆腐の記載が多くなつたのではないかという説も出ている。

いろんな説の中で曹元字という教授は『豆腐製作源流考』を執筆し、こう指摘している。中国の古籍の中で豆腐についての最初の記載は陶穀の『清異錄』であり、日本の文献では日蓮上人の手紙である。両者の間

はない。豆腐の発明は農民であろう。農民だつたら大豆を煮て豆乳を作つてから、この作業の過程の中から豆腐の作り方を発見したのだろうと発表した。この発表は一九五〇年である。

ところが、一九六〇年代に入つて日本の篠田統氏が五代の人で陶穀（九〇三—九七〇）の著書『清異錄』の中に「当時、戢（その地方の長官）は青陽蒸（かうとう）」という豆腐について述べた部分を発見した。この本の記載に誤りがなければ、すでに唐代の中期に豆腐が作られ市に売られていた事を証明している。

篠田氏の考証は豆腐の歴史を百年早く遡らせ、そして篠田氏は豆腐の製作は農民でなく北方の遊牧民が大量に中原に移動して後、彼等の好むチーズが得がたくなつたので代用品として豆腐を発明したのだろうと考えた。この本の著者郭伯南氏は、篠田説の遊牧民説は根拠がないとしても反証する事が困難であると書いている。

い　な　づ　ま

には三百年の開きがある。前者は中国では唐末、五代の時期にすでに豆腐があつた事を証明出来、後者は鎌倉時代（宋・元の時代）に中国に来た日本の僧によつて持ち帰られたのである。その後、日本の書物の中に豆腐について書かれたものが多くなつてゐる。郭伯南氏は曹教授は文献にきびしい人であると註を入れている。

淮水流域に始まるという説

文献の根拠はないが、以上の見解から文献にないものはすべてダメなのか、客観的に考察する事も出来るのではないかとの論が始められた。

考古学者はかつて河南省密県の漢墓から豆腐やの石刻が発見された事を報告している。著者郭伯南氏も、安徽省寿県の博物館で後漢の陶製のひき白の模型を見たが、形は現在八公山豆腐を作っている白とほぼ同じである。この種の白の模型は淮水流域の漢墓から出土することがあり、徐州博物館にも収蔵されている。最も早期の石臼と思われるものは、河北省の流域にある『中山王劉勝』の墓から出土したもので上下二つの石からなり、黒い雲母花崗岩で出来ている。この石臼は大きな鉢状の漏斗の真中に据えられ、石臼でひかれた大豆の汁は下の漏斗の中から下に置かれたカメに落ちるようになっている。この石臼と漏斗は水を加えながら大豆を引く事によって豆乳を作るには全く理想的な道具である。そしてその時代は『淮南の術』の発明された時代と全く一致する。現在安徽省北部、江蘇省北部、河南省東部、山東省南部などの淮水流域では昔ながらの煎餅が今日でも主食である。煎餅を作るには、まず粟や大豆を水に浸し石臼でひいて糊状にし、平たい鍋に薄くのばして焼く。このような食物はこのあたりではどこの家でも作る。そして臼はどこの家にもある。漢代の白の型と併せて考えると二千年前にすでに淮水流域では煎餅を食べ、豆乳を飲んでいたことを物語つてゐる。石臼があつて大豆があつて、豆乳を作れば豆腐だって作れたのではないかと思う。ところが

学者や専門家はウンといわない。理由は当時凝固剤（ニガリ）がなかつたと指摘する。しかし、凝固剤は意外と多く手に入れるに苦労しない。明の李時珍の『本草綱目』に記載されている凝固剤は、ニガリやすまし粉の外に明礬水、ほおづき、酢などおよそ苦味、渋味酸ば味、辛味のあるものは何でもよいとなつてゐる。これに従えば農民の手に凝固剤は沢山あつたことになる。

豆腐は蒸したりすると、ある一定の温度で一晩のうちに脂肪類などが綿状に固まって沈澱する。その表面にじみ出た水は清らかな泉水のようである。綿状の沈澱物を濾過し重しをかけて水分を切るとそれは大根より白く、鐘乳石より美しい豆腐が出来るという。よく煮た大豆蛋白、脂肪それに水を加えて固まつた豆腐は白く軽く、苦味も渋味もない八公山豆腐は古来の自然沈澱法によつて作るのである。これは淮南王の遺訓であると言えるだろう。著者は、私の管見（細い管からのぞくと言う事で狭い視野をいう）であるがと前置きして「漢代には淮水（淮河）流域ではすでに豆腐作りの条件がそろつており、豆腐作りが可能であつた。豆腐の創始者は当然淮水流域に住む農民であろう。淮南王劉安は当地方の豆腐の作り方や道具を、朝廷や諸侯に献上したので豆腐が広く伝えられ、後世その発明者として淮南王の名前が伝わつたものであろう。勿論文献にない私の憶測にすぎないが、当つては左記のよう

記

一、平成二年八月三十一日までに、改正法附則第六条に規定する第一種電気工事士資格講習を修了した者であつて、講習修了証の交付を受け、かつ、第一種電気工事士免状の交付を受けていない場合には、都道府県知事から当該免状の交付を受けるまでは、当該講習修了証を第一種電気工事士免状と同等に扱う。

二、平成二年八月三十一日までに、電気工事士法施行規則第四条の二に規定するネオン工事資格者認定講習又は非常用予備発電装置工事認定講習を修了した者であつて、講習修了証の交付を受け、かつ、特種電気工事資格者認定証の交付を受けていない場合には、各通商産業局長等から当該認定証の交付を受けたものではないかと思う。耶馬台国の大弥呼（三世紀）の時代、現代のチーズに似たような食品『酥』があつたことが文献にある。日本でもかなり早くから豆腐づくりの条件があつたのだろうと思う。

三、なお、この取扱いは、平成二年五月三十一日までとする。

お知らせ

事業主のみなさんへ

『労働保険』の加入はお済みですか

○ 労働保険とはこんな制度です

労働保険とは、労災保険と雇用保険とを総称した言葉で、労働者の生活の安定、福祉の増進を図ることを目的とした政府管掌の保険です。労災保険は仕事中や通勤途上で負傷・傷病などを被った場合に必要な給付を行い、雇用保険は失業した場合に給付を行う制度です。さらに、雇用の安定等を図るために各種の助成等も行っています。

○ 労働保険は強制加入です

労働保険は全面適用（農林水産業の一部を除く）となつてゐるため、原則として、労働者を一人でも雇つていれば、その事業主は加入手続きを行い、労働保険料（労災保険料と雇用保険料）を納入しなければならないことになつております。

まだ加入されていない事業主の方は、今すぐ加入手続きを行い、労働者が安心して働く明るい職場を作りましょう。

○ 労働保険の加入手続きは

労働保険に加入するには、労働保険関係成立届を労働基準監督署又は公共職業安定所に提出し、その年度分の労働保険料を概算保険料として申告・納付していただくなっています。

なお、手続きする人手がない、あるいは手続方法が面倒だという事業主の方のために、これらの事務を事業主に代つて行う「労働保険事務組合」制度の利用や、社会保険労務士の活用をお勧めします。詳しくは、最寄りの労働基準監督署又はハローワーク（公共職業安定所）にお尋ねください。

函館労働基準監督署
函館公共職業安定所

知らなければ損をします

税務公報

生命保険と税

多くの家庭では、病気や交通事故など突然の災害に備えて、生命保険に加入しています。

生命保険に加入し、保険料を支払った場合は、支払い保険料に応じて、一定額が所得税を計算する際の基礎となる所得金額から控除されます。また、保険金を受け取った場合は、契約内容などにより、相続税若しくは贈与税又は所得税の課税関係が生じます。

そこで、生命保険に関する税金のあらましを説明します。

〔生命保険料を支払った場合〕

納税者本人や家族を受取人とする生命保険や簡易生命保険、郵便年金、生命共済の保険料又は掛金（以下「保険料」といいます。）を支払った場合は、その年中の支払額に応じて、一定額（最高十万円）が「生命保険料控除」として、その年の所得金額から控除されます。

ただし、保険期間が五年に満たない生命保険契約や生命共済に係る契約で、被保険者が保険期間満了の日に生存している場合など特定の場合に保険金が支払われることになつているものの保険料は控除の対象となりません。

また、その年に生命保険契約に基づいて受け取った剩余金や割戻金は、支払った保険料から差し引くことになつています。

一、生命保険料控除額の計算

二、生命保険料控除を受けるための手続き

その年中に支払った保険料を、一定の要件に該当する個人年金保険料と、一般的の生命保険料とに区分し、それぞれについて次により計算した金額を合計した額（最高十万円）が控除額になります。

支払った保険料の金額(A)	生命保険料控除額
(A)の金額	
二十五,〇〇〇円以下	(A)× $\frac{1}{2}$ ＝一二,五〇〇円
二十五,〇〇〇円～五〇,〇〇〇円	(A)× $\frac{1}{2} + \frac{1}{2}$ ＝二五,〇〇〇円
五〇,〇〇一円～一〇〇,〇〇〇円	(A)× $\frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2}$ ＝三七,五〇〇円
一〇〇,〇〇〇円以上	一律に五〇,〇〇〇円

サラリーマンの場合は、通常、年末調整の際に控除を受けることになりますので、「給与所得者の保険料控除」として、「確定申告書」にその年中に支払った生命保険料の金額などを必要事項を記載して、年末調整のときまでに勤務先に提出することになります。事業などを行つている場合は、「確定申告書」に必要事項を記入して控除を受けることになります。

なお、生命保険料控除の適用を受ける場合は、支払った保険料が一契約で年間九千円を超えるとき（個人事業者年金保険料については、その金額の多少を問わずすべて）は、保険会社などの発行する払込証明書を添付又は提示することが必要です。

い な づ ま

(生命保険金を受け取った場合)

生命保険契約に基づいて、一時金や年金を受け取った場合は、生命保険契約の保険料をだれが負担しているかによって、相続税若しくは贈与税又は所得税の課税対象になります。

一、満期保険金を一時に受け取った場合

- (1) 保険料を負担していた人が、保険金受取人のとき、

受け取った保険金から負担した保険料を差し引いた金額が、一時所得として所得税の課税対象になります。ただし、一時所得には五十万円の特別控除があり、これを超える額の二分の一に対しても税金がかかることになります。

なお、一時扶養老保険又は一時扶損害保険の差益(保険期間が五年以下のものや契約期間が五年超のもので五年以内に解約されたもの)については、受け取るときに二十パーセントの源泉徴収による分離課税となります。

- (2) 保険料を負担していた人が保険金受取人以外のとき、

受け取った保険金に對して贈与税がかかります。

なお、贈与税は、一年中に贈与を受けた財産の価格の合計額から六十万円の基礎控除を差し引いて計算します。

二、死亡保険金を一時に受け取った場合

- (1) 保険料を負担していた人が、死亡したとき

保険金受取人に相続税がかかります。ただし、保険金受取人が相続人であるときは、法定相続人の数に五百円を掛けた金額までが非課税となります。

なお、相続税は亡くなつた人の正味の遺産額から四千万円十(八百万円×法定相続人の数)の基礎控除を差し引いて計算します。

- (2) 保険料を負担していた人が、年金の受取人のとき、

受け取った保険金から負担していた保険料を控

除した金額が、一時所得として所得税の課税対象となります。

(3) 保険料を負担していた人が、保険金受取人でも死亡した人でもないとき、

三、満期保険金を年金で受け取る場合

- (1) 保険料を負担していた人が、年金の受取人のとき、

毎年受け取る年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。

- (2) 保険料を負担していた人が、年金の受取人以外のとき、

保険金を年金として受給する権利を、贈与によって取得したものとみなされ、その受給に関する権利の価額が贈与税の課税対象となるとともに、毎年受け取る年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。

なお、(1)及び(2)の雑所得の計算に当たっては、その年に受け取る年金に見合う支払保険料を控除することになります。

四、死亡保険金を年金で受け取る場合

- (1) 保険料を負担していた人が、死亡したとき

保険金を年金として受給する権利を、相続や贈によって取得したものとみなされ、その受給に関する権利の価額が相続税の課税対象となるとともに、毎年受け取る年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。

- (2) 保険料を負担していた人が、年金の受取人のとき、

毎年受け取る年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。

- (3) 保険料を負担していた人が、年金の受取人でも死亡した人でもないとき、

保険金を年金として受給する権利を、贈与によって取得したものとみなされ、その受給に関する権利の価額が贈与税の課税対象となるとともに、

毎年受け取る年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。

なお、(1)、(2)及び(3)の雑所得の計算に当たつては、その年に受け取る年金に見合う支払保険料を控除することになっています。

五、各種特約に基づく給付金を受け取った場合

生命保険契約に基づく給付金で、身体の傷害や疾病を原因とする障害給付金や入院給付金等を受け取った場合は、非課税となり、所得税も贈与税もかかりません。

なお、多額の医療費を支払った場合は、確定申告をすることにより、医療費控除が受けられます。受け取っているときは、支払った医療費からこれらをの給付金を差し引いて、負担した医療費を計算することになります。

編集後記

- 昨年から続いた好況の恩恵で本年も忙しく立働いている内に最早「師走」の声を聞く頃となりました。
- かつての「いざなぎ景氣」に次ぐ長期の好景気といわれ、特に建設業は好況だと云われておりますが確かに工事量は多いものの中身は伴わず人手不足の折、矢張り『利益なき繁忙』の感は否めない昨今であります。
- 本年は当組合も永年の懸案であった組合会館が完成し、各事業諸行事も順調に推移しております。今後更に組合内部の充実を計り組合員の繁栄にむけ理事者・事務局とも決意をあらたにしております。
- あと一ヶ月で波乱に満ちた平成2年も終ろうとしております。年末の繁忙期組合員の皆様には労働安全と交通災害防止に充分に留意されまして來たる年の飛躍に備え奮闘をお祈りいたします。

時代の変化にこたえる感性
綜合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

040 函館市大繩町二十二番十四号
電話 四一一二二四一

吟味する

松下電工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 函館四九一五二五

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四九一一三一三一三

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九一一〇
電話 (03) 3136-5977
山越郡八雲町内浦町一〇九番七

営業所 電話 (03) 3136-5977
代四九一六一二一三

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四一
電話 四二一六二二三一三

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社 工三ヤ商會

函館営業所

函館市富岡町一丁目四一
電話 四二一三〇一一(代表)
本社 札幌・営業所 鉾路、苫小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

函館支社

函館営業所
040 063 060
函館市中央区北六条西
一市一市三中四新中野二丁目
三中八島五町四丁目
五町五丁目
四番四丁目
二二三番二二番
二五番二一番
代号代地

日松立電工(株)代理店
函館営業所

北進商事株式会社

F電函
A 話市
X 的場
五五
五五
一一
三一
七二
四〇
一五